

俳句を写真画像と共に楽しむ <奇数月28日発行>

# しゃらくかい 写楽回会

令和5年春の号 [vol.80]  
(3・4月)

<https://isamusouma.web.fc2.com/>

投稿先; kinuko\_thompson@hotmail.com

© 2023 Sharakukai



イメージ写真

初春(3・4月)の兼題「たんぽぽ」 出題: NOさん

## 写真俳句の部

(掲載ランダム)



子らの手に野草タンポポおままごと  
(季語: タンポポ=春) 陽閑



たんぽぽの絮<sup>わた</sup>十キロ先へ片思い  
(季語: たんぽぽ=春) 池福楼



球体の白き絮<sup>わた</sup>秘めたんぽぽ黄  
(季語: たんぽぽ=春) 福来雀



たんぽぽの綿毛追いかけて平和かな  
(季語: たんぽぽ=春) iSAMU



タンポポの綿毛の巣立ちあと二日  
 (季語: タンポポ=春) 昼寝覚



たんぽぽよ道に咲くのは根性花  
 (季語: たんぽぽ=春) 梵木



春風に乗る時を待つ綿毛かな  
 (季語: 春風=春) 千泉



荒地でも咲く蒲公英の心意気  
 (季語: 蒲公英=春) 久芽



たんぽぽや踏まないでねと黄を発信  
 (季語: たんぽぽ=春) 準坊

## 俳句の部

(掲載ランダム)

単線のレールの脇の黄たんぽぽ 昼寝覚 (季語:たんぽぽ=春)  
[タンポポは種が落ちたところどこでも生命力豊かに花を咲かせます。]

たんぽぽや朝餉のたまご黄身二つ 池福楼 (季語:たんぽぽ=春)

旅立ちのたんぽぽの<sup>わた</sup>絮風に溶け 準坊 (季語:たんぽぽの絮=春)

道端の強き蒲公英ウクライナ 陽閑 (季語:蒲公英=春)

地にへばるたんぽぽの葉の根の強き 千泉 (季語:たんぽぽ=春)

タンポポ咲刻が経ったら綿毛のみ 梵木 (季語:タンポポ=春)

たんぽぽの<sup>わた</sup>絮帰る子の後を追い 久芽 (季語:たんぽぽの絮=春)  
[子供の頃たんぽぽの絮を吹いて遊びましたね。]

たんぽぽの似合う青空深呼吸 福朱雀 (季語:たんぽぽ=春)

メリポピンズ綿毛の如く吾子逝きぬ マム (季語:無季)  
[バンクシーの絵のようなMerryポピンズが傘をさして飛んでゆくのが綿毛になった娘に見えました。]

### 季語抜粋

今回の春号の兼題「たんぽぽ」はまさに春の季語ですので季語抜粋はありません。

**タンポポ・蒲公英・鼓草・蒲公英の絮** (たんぽぽのわた) 【春】

キク科の多年草。道端・土手などで普通に見られる。蝦夷蒲公英・関東蒲公英・関西蒲公英などの在来種が各地に分布するが、いずれも西洋蒲公英に圧倒されている。三～五月ごろ黄色・白色の頭花が花茎にひとつつく。花のあと形成される絮が風に飛んでいくさまは詩情をかきたてる。

**タンポポの名前の由来は諸説あります。**

有名な説のひとつが、和楽器の鼓が由来になったという説。タンポポの総苞を割くとくるんと反り返ります。この姿が鼓に似ていることで「鼓草」と呼ばれるようになり、鼓を叩いたときの「タンタン、ポンポン」の音から名前がついたといわれています。

このほかにも、田んぼのあぜ道で多く見られたことからタンポポと呼ばれるようになったという説や、タンポポの綿毛が綿を丸めて布などでくるんだ「たんぽ」の姿に似ていることで「たんぽ穂」と呼ばれるようになり、それがタンポポになった、といった説があります。

**タンポポの花言葉は「愛の神託」「真心の愛」「別離」。**

千泉

校則は赤髪黄髪青もよし [時代は変わってきましたね。日本では?]

げんこつを下しし先生懐かしき [そんな時代もあったねと〜♪]

陽閑

28慌ててめぐり弥生なり [2月カレンダー]

刺身盛り先ず菊除き迷い箸 [タンポポと間違え]

誰もやる余計なお世話綿毛ふき [自然の風にお任せ]

池福楼

電気代いきなり2倍卒倒す [光熱費高騰で家計は火の車]

デパートに百均入る時代なり [デパートは今や貸ビル業に]

パチンコは妻に内緒の闇バイト [小遣いを増やすつもりが負けばかり]

準坊

物忘れ増えて減るのは記憶力 [自然の成り行きですね]

早足も女子に抜かれて息上がり [くやしい〜!]

待ち侘びて咲き惜しまれて散るは花 [桜には癒されますね]



次回初夏号兼題「洗濯」

初夏(5・6月)の号 兼題「洗濯」

イメージ写真

● 福来雀より初夏5・6月号の兼題を「洗濯」と出題させていただきました。隔月という課題になりますが季節は幅広く捉えて自由に発想を広げて作句をお願いします。

締め切りは令和5年5月20日です。

● 写楽句会にご意見、ご希望等ございましたらお知らせください。

下記のiSAMUさんのホームページから「写楽句会」をクリックして頂くと写楽句会のバックナンバーが閲覧できます。

<https://isamusouma.web.fc2.com/>

写楽句会 連絡先: kinuko\_thompson@hotmail.com

© 2022 Sharakukai